

下北地域の強靱化を支援する道路整備

国道279号木野部工区及び風間浦バイパスの取組状況と今後の予定について伺う。

国道279号木野部工区は、令和2年度から事業に着手し、道路構造やトンネルに係る詳細設計等が完了。引き続きトンネル施工に必要な調査・検討などを進める。

風間浦バイパスは、昨年10月に想定ルート帯を公表し、現在は道路概略設計を進めている。今後は、技術的難易度の高い工事についての課題整理や環境影響調査などにも取り組む。



▲ 国道279号木野部工区及び風間浦バイパス概略図

県土整備部長

下北地域における原子力防災体制

大間原子力発電所に係る
① オフサイトセンターの立地に向けた検討状況について伺う。

電源開発株式会社では、大間原子力発電所について、2029年後半に安全対策工事を終了する予定としており、操業前には国によるオフサイトセンターの指定が必要となる。立地場所については、運転開始時期を見据えながら、国が定めるガイドライン等に基づき、施設からの距離や関係者の円滑な参集、下北地域全体の原子力防災体制を踏まえた検討が必要と考えている。

危機管理局長

本県における外国人住民向け支援

外国人相談窓口に従事する外国人生活相談員の専門性向上に、県はどのように取り組むのか伺う。

県では、生活相談員の対応能力の向上を図るため、専門家を講師に外国人の在留に係る制度や外国の文化、習慣などをテーマとした研修を毎年実施している。

また、より専門的な相談にも対応できるよう、出入国在留管理庁が、本年8月から新たに実施する①外国人支援コーディネーター養成研修に本県の生活相談員を参加させ、相談内容ごとに、適切な相手先に円滑につながる能力等のさらなる向上を図っていく。

観光交流推進部長

多様な学びへの対応

県立での①夜間中学の設置を視野に検討を進めるべきと考えるが、県教育委員会の考えを伺う。

夜間中学は、地域や生徒の状況に応じて、設置者や設置場所などを検討する必要があるほか、義務教育未修了者や一度中学校を卒業した者など、多様な教育ニーズへの対応を検討する必要がある。

県教育委員会では、令和5年度のアンケート調査結果を踏まえ、ニーズや学びたい理由について市町村教育委員会と共通理解を図っており、引き続き連携しながら夜間中学の在り方について検討していく。

教育長

① 外国人支援コーディネーター

出入国在留管理庁が2024年度から実施している外国人支援コーディネーター養成研修を修了し、認定を受けた人材。自治体等が設置する外国人相談窓口において、生活上の困りごとを抱える外国人をより適切な支援につなげていくことが期待されている。

① 夜間中学

夜に授業が行われる公立の中学校で、様々な理由により義務教育を修了できなかった人や、不登校などのために学校に通えなかった人、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学ぶことができる。青森県には設置されていない。

青森県議会議員

自

Takayuki

いもとたかゆき

井本貴之 議員

会派: 自由民主党 選挙区: むつ市

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY FROM MUTSU CITY

① オフサイトセンター

原子力災害時の対応拠点となる施設。万一原子力災害が発生した場合に、国、県、市町村、原子力事業者及び防災関係機関等が参集し、情報共有・意思統一を図りながら、避難や緊急時モニタリング等の応急対策を行う。



青森県議会議員

新

Daisuke

おがさわらだいすけ

小笠原大佑 議員

会派: 新政未来 選挙区: 青森市

SHINSEIMIRAI FROM AOMORI CITY

